

## 平成 29 年度 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度も、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、事業計画に従い、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関する講演会及び市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的にベトナム社会主義共和国での講義の提供や中華人民共和国からの研修生の受け入れを行った。

### I 事業の概要

#### 公益目的事業

#### 1 留学生奨学事業

##### (1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 29 年 4 月 17 日までに 83 大学から 97 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金受給対象者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり奨学金の支給を行った。

第 32 期 S G H 奨学生：16 名（一人当たり月額 10 万円、支給期間 2 年）  
年間支給額：1,920 万円（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科 (敬称略・順不同)
グエン ティ キム アン	ベトナム 秀明大学 観光ビジネス学部
サフィトリ エフィヤニ	インドネシア 崇城大学 情報学部
ゴー メイ シン	マレーシア 東京経済大学 経済学部
ロニー クリスティアディ サリム	インドネシア 大阪工業大学 工学部
アナンシリプラパー カンヤナット	タイ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部

グナワン トミー	インドネシア 龍谷大学 理工学部
タ ティ バン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
ファム チュン ジャン	ベトナム 豊橋技術科学大学 工学部
ル ル	ミャンマー 法政大学 経済学部
ニン ティ デュク ミン	ベトナム 尚美学園大学 総合政策学部
ビジイト ケオレク	カンボジア 東京農業大学大学院 農学研究科
グエン ティ ツェット マイ	ベトナム 徳島大学大学院 先端技術科学教育部
ウイン トウン アン	ベトナム 東京国際大学大学院 経済学研究科
ゲリー タナマス	インドネシア 桃山学院大学大学院 経営学研究科
ヨスア ナターシャ	インドネシア 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院
チンサティ ワラポン	タイ 九州工業大学大学院 情報工学府

第31期SGH奨学生:18名(一人当たり月額10万円、支給期間2年)  
年間支給額:2,160万円(平成29年4月～平成30年3月)

氏名	国籍 大学/学部・研究科 (敬称略・順不同)
アニサ パダン ペランギ	インドネシア 愛知大学 国際コミュニケーション学部
ラタナスワン サチタ	タイ 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
レ コン トウアン アン	ベトナム 滋賀大学 経済学部
タン チュウ テン	マレーシア 青森中央学院大学 経営法学部
チャン ティ フェン	ベトナム 武蔵野大学 グローバル・コミュニケーション学部
グエン ニュー クイン アイン	ベトナム 名古屋経済大学 経済学部

ワカマツ ケイ	マレーシア 鹿児島大学 理学部
ナツメ ユウキ	シンガポール 東京大学大学院 理学系研究科
クー エル シン	マレーシア 千葉大学大学院 工学研究科
チン ティー タン	ベトナム 秋田大学大学院 理工学研究科
フィン ティー トウイ チャン	ベトナム 九州工業大学大学院 生命体工学研究科
ステファン クリスチャンセン	インドネシア 帝京大学大学院 理工学研究科
ピー ピョ ミツ	ミャンマー 国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科
チャン ティー ゲット	ベトナム 事業創造大学院大学 事業創造研究科
ダン テー チー	ベトナム 佛教大学大学院 文学研究科
チャン ゴク ダ ミ	ベトナム 武蔵野大学大学院 言語文化研究科
ナーカサン チャワナット	タイ 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
カムライ ティラワット	タイ 室蘭工業大学大学院 工学研究科

## (2) 奨学生交流活動

### ① 第32期SGH奨学生採用証書授与式

第32期SGH奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時	平成29年10月30日(月) 12:45～15:00
場 所	ホテル日航プリンセス京都
内 容	第32期SGH奨学生採用証書授与式

### ② 交流会

第32期SGH奨学生、第31期SGH奨学生及び卒業奨学生の留学生相互間の交流を深めることを目的として、交流会を次のとおり開催した。

日 時	平成29年10月28日(土)～29日(日)
場 所	京都府、滋賀県

内 容 佐川美術館見学  
観光（伏見稲荷大社、伏見十石舟）  
体験（生八つ橋手作り体験、京友禅体験）

③ 同窓会（なごみ会）

奨学生及び卒業奨学生が互いの現況報告や情報交換をする交流の場を設けると共に、卒業奨学生と長期にわたり繋がりを維持していくことを目的として、同窓会（なごみ会）を次のとおり開催した。

日 時 平成 30 年 1 月 20 日（土） 17:00～19:00

場 所 ホテル阪神

内 容 同窓会（現況報告、情報交換等）

日 時 平成 30 年 2 月 3 日（土） 17:00～19:00

場 所 東京ドームホテル

内 容 同窓会（現況報告、情報交換等）

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2017 年度版 アジアの和」

第 32 期 S G H 奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 31 期 S G H 奨学生の将来の夢を掲載し、平成 29 年 10 月に 210 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 31 期 平成 30 年 3 月卒業奨学生 研究成果・感想文集

平成 30 年 3 月に卒業した第 31 期 S G H 奨学生 18 名の研究成果・感想文集を平成 30 年 2 月に 175 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 29 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 29 年 6 月 30 日までに 77 機関から 195 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事長の承認を得て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数： 15 件 金額： 1,500 万円（1 件当たり 100 万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
石川 恵生	山形大学医学部歯科口腔外科助教 マイクロバイオーム解析技術を用いた唾液による癌スクリーニング バイオマーカーの探索研究	
大塚 篤司	京都大学大学院医学研究科外胚葉性疾患創薬医学講座特定准教授 免疫チェックポイント阻害剤における免疫関連有害事象バイオマ ーカーの探索	
大畑 慎也	武蔵野大学薬学部薬学研究科分子細胞生物学研究室講師 上衣腫発症につながる恒常的 NF- $\kappa$ B 経路活性化の分子機構解明と 阻害剤の開発	
小野澤 真弘	北海道大学大学院医学研究院血液内科学教室助教 造血器腫瘍におけるゲノム損傷修復機構の解明	
熊谷 雄太郎	大阪大学免疫学フロンティア研究センター定量免疫学ユニット特任 助教 新規細胞接触依存シグナル伝達によるがん免疫編集機構	
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科助教 急性骨髄性白血病幹細胞に対する新規細胞表面抗原の同定とその治 療開発	
貞廣 良一	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科がん専 門修練医 外科的がん切除後のせん妄発症を予測するバイオマーカーの開発	
高橋 暁子	公益財団法人がん研究会がん研究所細胞老化プロジェクトプロジェ クトリーダー がん細胞の転移を制御する SASP 様遺伝子発現変化の解析	
田中 洋介	東京大学医科学研究所細胞療法分野助教 G <sub>0</sub> マーカーp27K <sup>ip1</sup> を用いた白血病幹細胞 (LIC:Leukemia Initiating Cells) とそのニッチの特定	
谷口 浩二	慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室特任准教授 臓器再生と癌におけるサイトカイン受容体 gp130 の役割に関する研 究	
富樫 庸介	国立研究開発法人国立がん研究センター先端医療開発センター免疫 TR 分野研究員 腫瘍免疫における制御性 T 細胞の新たな概念とその制御に基づいた 治療応用	
野田 剛広	大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学助教 新規肝細胞癌高転移能細胞株における統合プロファイリングによる 肝内転移機序解明	
前川 大志	愛媛大学プロテオサイエンスセンター細胞増殖・腫瘍制御部門助教 ユビキチン E3 リガーゼ複合体への人為的介入による抗 HER2 療法 耐性乳癌の新規治療戦略開発を志向した分子基盤解析	

山口 知也	熊本大学大学院先導機構（併任）大学院生命科学研究部がん生物学分野准教授 肺腺がんにおけるカベオラ生理機能を標的とした EGFR-TKI 耐性の克服
山田 健一	徳島大学大学院医歯薬学研究部（薬学域）薬品製造化学分野教授 アポトーシス誘導活性を有する抗腫瘍性アルカロイドの構造活性相関研究を指向した立体網羅的合成

## (2) 第15回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成29年6月30日までに6件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
井垣 達吏 氏	京都大学大学院生命科学研究科システム機能学分野教授 細胞競合によるがん細胞制御の発見とそれを利用した新規がん治療法開発のための基礎的研究	
白土 博樹 氏	北海道大学大学院医学研究院教授 動体追跡放射線治療研究	

## (3) 第15回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の平成29年6月30日までに5件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
宇野 さつき 氏	医療法人社団新国内科医院看護師長・がん看護専門看護師 地域緩和ケアの普及と質の向上に向けたネットワークの推進	

長澤 昌子 氏

岩手医科大学附属病院高度看護研修センター緩和ケア認定看護師  
教育課程主任教員

緩和ケア認定看護師に求められるコアコンピテンシーと研修プログラム  
の開発

#### (4) 授与式・授賞式の開催

第 29 回 S G H がん研究助成金受領者を対象とした授与式、第 15 回 S G H 特別賞授賞式、第 15 回 S G H 看護特別賞授賞式、並びに第 14 回 S G H 特別賞受賞者、第 14 回 S G H 看護特別賞受賞者による記念講演会を次のとおり開催した。

日 時 平成 29 年 12 月 9 日 (土) 11:00～13:05

場 所 リーガロイヤルホテル京都

内 容 第 29 回 S G H がん研究助成金授与式  
第 15 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

##### 第 14 回 S G H 特別賞受賞記念講演

小西 郁生 氏

「卵巣がんの多様性と新たな治療法開発」

(独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長)

柴田 龍弘 氏

「日本人がんゲノムデータベースの構築とゲノム医療への展開」

(東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターゲノム医科学分野  
教授/国立研究開発法人国立がん研究センターがんゲノミクス  
研究分野分野長)

##### 第 14 回 S G H 看護特別賞受賞記念講演

秋山 正子 氏

「がんとともに歩む力を～マギーズ東京への歩みと実践～」

(NPO 法人 maggie's tokyo 共同代表 センター長)

安藤 詳子 氏

「地域緩和ケアにおける看護実践力開発に関する研究」

(名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎・臨床看護学講座  
教授)

#### (5) 研究成果報告集の刊行

第 28 回 S G H がん研究助成金受領者及び第 14 回 S G H 特別賞受賞者、第 14 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と平成 29 年度の事業報告を掲載し、「2017 S G H がん研究報告 Vol.28」を平成 30 年 3 月に 1100 部発刊し、全国の大学、病院等の研究機関、図書館等に配付した。

### 3 がんに関する市民講座の開催

第16回市民公開講座を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞朝刊（平成30年3月9日付）に掲載した。

#### 第16回市民公開講座

「こんなに進んだ！肺がん治療の最前線」

日 時 平成30年2月18日（日）13:00～15:45

場 所 ハービス OSAKA B2F ハービス HALL

内 容 基調講演（30分）

「肺がんの手術 一切ることを怖がらないで」

伊達 洋至 氏（京都大学医学部呼吸器外科学教授）

講演（各20分）

「切らずに治す肺がんの放射線治療」

西村 恭昌 氏（近畿大学医学部放射線腫瘍学教授）

「肺がんの抗がん剤治療の現在と未来

—20年前と比べてこんなに進歩しました—

山本 信之 氏（和歌山県立医科大学内科学教授）

「肺がんの免疫治療 —進行がんでも薬で治るの？—

里内 美弥子 氏

（兵庫県立がんセンター化学療法担当部長兼呼吸器内科部長）

パネルディスカッション

司 会：伊達 洋至 氏

パネリスト：西村 恭昌 氏、山本 信之 氏、里内 美弥子 氏

コーディネーター 伊達 洋至 氏（京都大学医学部呼吸器外科学教授）

平岡 眞寛 氏（日本赤十字社和歌山医療センター院長）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 650名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

特定非営利活動法人日本肺癌学会

協 力 SGホールディングスグループ

## その他事業

### 1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止。

### 2 人材育成支援事業

#### (1) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生122名に下記のとおり講義の提供を行った。平成26年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 平成29年6月19日（月）～6月30日（金）

場 所 ベトナム社会主義共和国 ホーチミン交通大学

内 容 第3回ベトナム総合物流講座 物流に関する講義  
佐川グローバルロジスティクス株式会社  
SG佐川ベトナム・ディストリビューション・センター

#### (2) 日中友好物流人材育成支援研修

中華人民共和国山東省の山東大学、青島大学及び青島科技大学で物流を専攻する学生10名を受け入れ、日本において下記のとおり研修を実施した。

日 時 平成29年8月21日（月）～8月25日（金）

場 所 東京都、千葉県、神奈川県

内 容 第1期日中友好物流人材育成支援研修  
いすゞ自動車販売株式会社  
トヨタ L&F カスタマーズセンター東京  
佐川急便株式会社  
佐川グローバルロジスティクス株式会社

## II 処務の概要

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社シニアマネジャー
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

#### (2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	奥村 正悟	京都大学学生総合支援センター キャリアサポートルーム室長（特任教授）
評議員	佐野 友紀	SG HOLDINGS GLOBAL PTE.LTD. 代表取締役社長 SGH グローバル・ジャパン株式会社代表取締役社長 SGホールディングス株式会社取締役
評議員	武藤 誠	京都大学国際高等教育院特定教授 京都大学大学院医学研究科特命教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社執行役員

### (3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：13名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	川井 仁	株式会社三菱 UFJ 銀行執行役員 京都支社長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	北島 政樹	国際医療福祉大学副理事長 名誉学長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社取締役副社長
顧問	河野 伊一郎	倉敷芸術科学大学学長 独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	慶應義塾大学病院副院長 臨床研究推進センター長
顧問	高月 清	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員 熊本大学名誉教授
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長 株式会社日本無線社外取締役
顧問	畠 清彦	国際医療福祉大学三田病院血液内科教授 悪性リンパ腫血液腫瘍センター長
顧問	三嶋 理晃	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院院長
顧問	村岡 久平	公益社団法人日本武術太極拳連盟会長 公益社団法人日本中国友好協会名誉副会長
顧問	山岸 久一	京都府特別参与 京都府地域医療支援センター長 元京都府立医科大学学長

## 2 会議に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成29年6月6日	平成 28 年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	平成 28 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認

	諸規程改廃の件 顧問 13 名選任の件 S G Hがん研究助成選考委員 2 名選任の件 定時評議員会開催の件 職務執行状況について	承認 承認 承認 承認 報告
平成 29 年 6 月 20 日 (みなし決議)	事務長選任の件	承認
平成 29 年 6 月 21 日 (みなし決議)	理事長選定の件 理事長に事故があるときの職務代行順位選定の件	承認 承認
平成 29 年 10 月 10 日 (みなし決議)	SG ホールディングス株式会社臨時株主総会における議決権行使の件	承認
平成 30 年 3 月 26 日	平成 30 年度事業計画書・収支予算書等承認の件 職務執行状況について	承認 報告

## (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29 年 6 月 21 日	平成 28 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	定款一部変更の件	承認
	理事 6 名選任の件	承認
	評議員 1 名選任の件	承認
	平成 28 年度事業報告の件	報告

## (3) 各種委員会

### ① 第 32 期 S G H 奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29 年 5 月 7 日	第 32 期 S G H 奨学生選考に関する件	対象者を選出

### ② 第 29 回 S G H がん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 29 年 9 月 8 日	第 29 回 S G H がん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ 第15回SGH特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成29年8月18日	第15回SGH特別賞選考に関する件	対象者を選出

④ 第15回SGH看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成29年9月4日	第15回SGH看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

① 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

② 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としてコンプライアンス規程を定め、運用することを準備している。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
平成29年6月23日	事業報告等の提出
平成29年6月23日	変更の届出（定款の変更）
平成29年6月28日	変更の届出（評議員及び理事の変更）
平成30年3月27日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

寄附者	寄附の目的	寄附金額
SGホールディングスグループ	公益目的事業発展のため	97,000,000円

## 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人 S G H 財団